

国民年金委員総会 笠原会長を再任

ある二月三日午前十時から春町国民年金委員会と研修会を春町信用組合ホールで開きました。年金委員六十人が出席。会議前に映画「明日ある家庭」を見ました。江端町長があいさつでござる年金業務の協力を感謝のことばを述べました。笠原俊が議長となつて、役員改選など議事を進めました。総合終了後研修会に移り三社社長と年金事務所黒金第一課長が「保険料の特例納付について」、「若員」と題する年金委員会の説明に耳を傾ける年金委員会員

昭和四十七年五月一日に持つて、
日間に伊丹市平、小林市平、遠藤
方政が開設した。この開設は、
例会の開催場所がいつの間にか、
町役場へと変わってしまったのである。
これが、この例会の歴史である。

予算議会開會中

アラヤ
教ます

1972年3月15日
第143号
新潟県巻町役場
電話 代2(2)3131
商工観光課
新北洋印刷株式会社

町政
日記

- (2月分)

1日 農業所得調査会総会
農業所得標準の開示

2日 学校施設整備審議会
国保連協議会。

3日 民生委員協議会。投票部会。

4日 献血車来町。保育園年長部会。

5日 得意在運営委員会。

7日 記者会見。政和クラブ。原電正副部会長会議。民生委員打ち合わせ会。

8日 議会産業経済委員会協議会。

9日 公民館運営審議員、分館長主事会議。保育園入園申請者面接

10日 新議員勉強会。

14日 原電特別委員会。議員会員協議会。

15日 農業表彰式。地籍調査専門委員会。指定金融機関検定(16日まで)

16日 保育園長会議。巻町・鴻東村婦人指導者講習会。

17日 原電開発部会。結核精査。

19日 原電安全対策部会。

21日 原電補償部会。行政相談。産育融資委員会。

22日 家庭教育学級研究会衛生組合懇親会。

23日 胃部検診(24日まで)葬祭組合懇親会。

24日 病院運営委員会。社会教育委員会。

25日 農業振興協議会総会
婦人検診。青年講座

26日 水道企業団総会。

27日 体育指導員研修会。青年金融部会。

29日 青少年問題協議会。

福祉資金制度の内容			
資金名	貸付対象	貸付限度額(円)	返済期間
事業開始資金	仕事始めたいとき	母	400,000
事業継続資金	仕事を続けるうえで資金に困っているとき	母	200,000
技能習得資金	知識や技術を貰いたいとき	月	3,000
就職支援資金	就職準備のために	母・子	25,000
探査資金	就職に困っていると治原賛に困っているとき	母・子	150,000
生活資金	生活に困っているとき	母	7,500
住宅資金	家屋の改築費に販賣・福利金が必要なとき	母	300,000
転宅資金	生活に困っているとき	母	18,000
修学資金	学資に困っているとき	子	高校月3,000 高専月6,000 短大月7,500 大学月9,000
就学支援資金	入学の準備のために	子	高校15,000 高専25,000
修業資金	知識や技術を貰いたいとき	子	月3,000
結婚資金	結婚の支援に	寡婦の子	50,000
利子:修学資金・就学支援資金	修業資金は無利子、他は年3%		

母子家庭に福祉資金

一課一室ふえる

機構改革

気輕に二利用を

役場分室に

旧保健所を

十か年を前途

総合計画を策定

土木建設に重点予算

卷小の用地確保に乗り出す

新生農協を軸に振興

町の二人のハンター

火の跡始末十分に



議会で施政方針演説を行なう江端町長

土木建設に重点予算

卷小の用地確保に乗り出す

新生農協を軸に振興

町の二人のハンター

火の跡始末十分に

都準看学院卒業式

ナイチン精神胸に、第一線へ

共同施設資金

貸し付け

予備申込み

純白な山鳥射止める

火の跡始末十分に

